

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：南丹市

プロジェクト名	安心・安全なまちづくりプロジェクト		実施期間	H30～H32	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	近年、地震や台風を始めとする自然災害は、従来の想定を上回る甚大な被害を発生させており、防災対策は重要な課題である。市民の暮らしを守るため、防災・災害対応となる情報対策の構築、災害時の地域防災計画の更新などの体制強化を図るとともに、日常の安全対策としての防犯対策、交通対策さらには原子力防災対策まで市民の暮らしを守る事業が求められている。							
プロジェクトの目的及び概要	地震や大雨などの自然災害、原子力発電所事故、交通事故などの人為的災害から市民を守り、また、事前事後などの災害対策などを講じることによって市民の安心・安全を確保する。また、国や府、関係機関との連携を強化し、市民生活の安全を守るための事業を総合的に実施する。							
	総事業費（千円）	660,264	本年度事業費（千円）	44,984	交付金額（千円）	20,346		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	業務継続計画策定事業	交付対象事業	業務継続計画（BCP）の策定		業務継続計画（BCP）を策定し、大災害時にも適切かつ迅速な業務の遂行に備えることができた			
	南丹市国際交流会館改修事業	交付対象事業	非常用照明等電源装置の改修		災害発生時の臨時避難所としての活用に備えることができた			
	南丹市国際交流会館改修事業	交付対象事業	エレベーターの改修		災害発生時の臨時避難所としての活用に備えることができた			
	障害者支援施設改修事業	交付対象事業	日吉障害者支援施設の屋根の改修		施設の適正な管理により、利用者の活動の場と安心・安全を確保できた			
	防災施設整備事業	関連事業	日吉エリア防災行政無線施設整備事業		日吉地域の防災行政無線のデジタル化により、防災情報の発信の迅速化が図れた			
	収容避難所耐震改修事業	関連事業	収容避難所に指定されている体育施設の耐震改修		災害時における避難者の安心・安全の確保に備えることができた			
	高齢者運転免許証自主返納支援事業	関連事業	運転免許証を自主返納される高齢者への公共交通機関利用チケットの交付		高齢運転者の交通事故防止と交通弱者の救済が図れた 136名			
	給食放射性物質検査事業	関連事業	保育所、小中学校の給食の放射性物質検査		給食の安全性の再確認をし、子どもたちに安心で安全な給食を提供することができた			
住民 協働 事業	公衆防犯灯設置事業	交付対象事業	公衆防犯灯の新設、既設公衆防犯灯のLED化補助		夜間における通行の安全を確保し、防犯効果を高めることができた 新設92基 LED化382灯			
	高齢者運転免許講習実施支援事業	関連事業	自動車教習所で実施される高齢者運転免許講習の支援		市内での受講が可能になり、受講者の負担軽減とともに、交通安全意識の高揚を図ることができた。			
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	自主防災組織の組織率 H35 75%		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	60.5%			
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)	成果指標の目標数値が将来年度であるため				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：南丹市

成果指標②	成果指標の目標数値	公衆防犯灯のLED化の割合 H35 20%		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	19.8%
	成果指標の達成状況	－	(左の理由)	成果指標の目標数値が将来年度であるため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	交通事故の発生件数 H35 70件		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	43件
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	成果指標の目標数値は将来年度であるが、今年度で目標数値を上回った	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	防災対策や災害対応の強化、日常の防犯対策の強化により、市民の防災や防犯、安心・安全に対する意識の高揚につながった。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	防災や防犯に係る事業を総合的に実施することにより、防災対策の強化や地域での防犯活動の充実を図り、安心・安全なまちづくりの推進に寄与した。			
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果	公衆防犯灯設置事業では、各集落が設置箇所を選定され、設置後の維持管理も各集落が行っており、自治意識の高揚につながった。			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果	高齢者運転免許講習実施支援では、京丹波町と連携して実施することができた。			
	行財政改革に資する成果				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：南丹市

	その他の成果	
--	--------	--

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。